

Sony Music Foundation presents
THE 13th INTERNATIONAL
OBOE
COMPETITION OF JAPAN 2023
in Tokyo

第13回 国際オーボエコンクール・東京

<< 参加規定 >>

2022年11月25日 改訂版



MEMBRE DE LA FÉDÉRATION
MONDIALE DES CONCOURS
INTERNATIONAUX DE MUSIQUE
MEMBER OF THE WORLD
FEDERATION OF INTERNATIONAL
MUSIC COMPETITIONS

- 主催：公益財団法人ソニー音楽財団 (Sony Music Foundation)
後援：文化庁、日本オーボエ協会
協賛：ソニーグループ株式会社、ヤマハ株式会社
協力：公益財団法人武蔵野文化生涯学習事業団、
日本ダブルリード株式会社、公益財団法人東京フィルハーモニー交響楽団

I. コンクール概要

「国際オーボエコンクール」は、オーボエの素朴でやさしい音色を愛し、オーケストラのクオリティを決定づける楽器としてその重要性を唱えた初代ソニー音楽財団理事長 大賀典雄(1930-2011)の発案の下、1985 年より公益財団法人ソニー音楽財団が 3 年毎に開催しています。その目的はオーボエの真価を広めると共に、優れた人材の発見、育成に努め、日本及び世界への活躍の場を広げ、国際的な視野をもって音楽文化の発展に寄与することにあります。当コンクールは世界のオーボエ奏者の登竜門として今や広く世界に認知されるまでとなり、世界で活躍する優秀な人材を輩出しており、世界でも珍しいオーボエに特化した国際コンクールとしての地歩を確固たるものとしています。第 1 回より第 7 回までは東京にて、2006 年の第 8 回から 2015 年の 11 回まで長野県の軽井沢大賀ホールにて、2018 年の第 12 回は東京にて開催いたしました。第 13 回は新型コロナウイルスの影響で延期とし、2023 年に改めて開催いたします。国際音楽コンクール世界連盟会員。

1. 名称

第 13 回 国際オーボエコンクール・東京
THE 13th INTERNATIONAL OBOE COMPETITION OF JAPAN 2023 in Tokyo

2. 「第 13 回 国際オーボエコンクール・東京」委員会

会長 水野 道訓(ソニー音楽財団理事長)

【運営委員会】

運営委員 軽部 重信【委員長】、(ソニー音楽財団専務理事)
金川 文彦【副委員長】、(ソニー音楽財団常務理事)
古部 賢一
辻 功
吉田 将

【審査委員会】

審査委員長 ハンスイェルク・シェレンベルガー オーボエ奏者、指揮者、
マドリッド・ソフィア王妃高等音楽院 教授

審査委員 (アルファベット順)	古部 賢一	新日本フィルハーモニー交響楽団 特任首席オーボエ奏者／ 東京音楽大学 准教授
	ゴードン・ハント	ロンドン室内管弦楽団 首席オーボエ奏者／ 元フィルハーモニア管弦楽団 首席オーボエ奏者、指揮者
	ラモン・オルテガ・ケロ	バイエルン放送交響楽団 首席オーボエ奏者
	ドワイト・ペリー	シンシナティ交響楽団 首席オーボエ奏者
	辻 功	オーボエ奏者、洗足学園音楽大学 教授・学部長補佐
	吉田 将	読売日本交響楽団 首席ファゴット奏者

3. 事務局

「第 13 回 国際オーボエコンクール・東京」事務局
公益財団法人ソニー音楽財団(Sony Music Foundation)内

〒102-8353 東京都千代田区六番町 4-5 SME 六番町ビル

T E L: 03-3515-5261 (日本時間: 平日 10-18 時)

e-mail: smf@sonymusic.co.jp

U R L: <https://oboec.jp/>

* 日本国外からの問い合わせは、E メールに限る。

4. 日程

参加申込受付期間	2023年2月15日(水)ー3月14日(火) 【中央ヨーロッパ時間(GET) 事務局必着】
予備審査(動画による審査)	2023年4月ー5月(非公開) ◇予備審査通過者発表: 6月19日(月)頃
第1次予選(動画による審査)	2023年8月8日(火)動画提出締め切り(予定) ◇第1次予選通過者発表: 9月11日(月)頃
(以下、日本・東京にて)	
出場登録	2023年9月30日(土)
第2次予選	2023年10月3日(火)・5日(木)・6日(金) ◇第2次予選通過者発表: 10月6日(金)
本選及び表彰式	2023年10月8日(日)
入賞者&審査委員コンサート	2023年10月9日(月・祝)

5. 会場

武蔵野市民文化会館
〒180-0006 東京都武蔵野市中町3丁目9番11号
<https://www.musashino.or.jp/bunka/>

- ◆第2次予選: 小ホール
- ◆本選及び表彰式、入賞者&審査委員コンサート: 大ホール

6. 賞

- ◆ 第1位【大賀賞】 表彰状・表彰金 130万円・トロフィー
 - ◆ 第2位 表彰状・表彰金 70万円
 - ◆ 第3位 表彰状・表彰金 30万円
 - ◆ 入賞 表彰状・表彰金 10万円
- 第4位以下の本選出場者全員に与えられる。
 - ◆ 聴衆賞 表彰状
 - ◆ 奨励賞 表彰状
- 日本国籍をもつ出場者の中で、委員会で決定した者に対し贈られる。
ただし、該当者がいない場合は適用されない。
受賞者には、日本での公演の機会が与えられる。
 - ◆ ソニー賞 記念品
- ソニーグループ株式会社より本選出場者全員に贈られる。
- ◇ 第1位から第3位のうち同位入賞者が複数の場合は、別途委員会にて表彰金額を決定する。
また、該当者がいない場合は、各位は空位となる。
- ◇ この他、特別賞などの賞を定めることがある。
- ◇ 上記表彰金は、日本の税法に基づく税金を含む額とする。

II. 参加申込について

1. 参加資格

1993年1月1日から2005年12月31日までに出生した者。
ただし、過去に当コンクールにおいて第1位を受賞した者を除く。

2. 参加申込受付期間

2023年2月15日(水)ー3月14日(火)【中央ヨーロッパ時間(CET) 事務局必着】

3. 参加申込先

オンライン申込サービス“MUVAC”での受付とする。
“MUVAC”(https://www.muvac.com/)。
※事前にアカウント登録が必要。
※その他の方法での申込は不可。

4. 参加申込方法

参加希望者は、申込受付期間内に MUVAC にアクセスし、以下の(a)~(e)すべてを入力またはアップロードすること。

- 1) 参加申込には、まず MUVAC の TOP 画面右上“Join muvac”から当該コンクールの申込に必要な情報(以下の表を参照)を登録すること。
- 2) 必要情報を登録後、MUVAC 内の“Institutions”に掲載される当該コンクールページ(Sony Music Foundationで検索)にアクセスし、“Apply”より申込を行うこと。
- 3) 申込完了後、MUVAC より申込完了メールが自動配信される。必ず受信を確認すること。
- 4) 日本語マニュアルは当コンクールの公式ウェブサイト(https://oboec.jp/)で必要に応じて参照すること。

※データは申込受付期間内(2023年2月15日から3月14日まで)であれば随時修正・追加可能。

※申込内容に不正および不備が発覚した場合は即時失格となる。

	注意事項等	MUVAC 内 ページ
(a) 基本情報	参加希望者の基本情報 - 氏名、性別、誕生日 - 国籍、住所、電話番号 等	Personal Data
(b) プロフィール	現在の職業、音楽歴、演奏歴、コンクール入賞歴など	Résumé
(c) 写真	- 正面・上半身 - 申込日から半年以内に撮影したもの。 - カラー写真で、著作権による制限のないもの。 (チラシや雑誌からの切り抜きは不可) - 容量 200KB 以上の JPEG 形式 - 公式パンフレット、ウェブサイト、広報等に使用するものとする。	Documents
(d) 年齢証明	年齢を証明する公式文書 1 点(パスポート等。)	Documents

(e) 予備審査用 動画	<p>予備審査課題曲(後述)の録画をアップロードした YouTube または Vimeo ページの URL</p> <p>※過去に、当コンクールにおいて第 2 次予選に出場した者は、予備審査用動画の提出のみ免除される。対象者は、参加申込前に E メールにて事務局 (smf@sonymusic.co.jp) にその旨を必ず申し出ること。</p> <ul style="list-style-type: none"> - 収録は、2022 年 10 月以降に行われたもので、未編集の録画に限る。ここでいう未編集とは、音の調整や曲中の編集が行われていないことを指す。 - 審査は匿名で行われるため、自身の名前や学校のロゴなど、個人が特定される情報が動画内に含まれないよう注意すること。 - カメラアングルは横長および固定とし、正面からオーボエ奏者の手元と顔が明瞭に映るように撮影すること。なお、伴奏者については顔が映るように撮影すること。 - 音源のみの提出は不可 - YouTube または Vimeo に一般公開または限定公開にてアップロードし、動画の URL を記入すること。その際に、パスワードをかけないよう注意すること。 - 録画の音質・画質は可能な限り高品質のものを推奨する。 - 動画タイトルは収録日(dd/mm/yyyy)とし、概要欄等には何も記載しないこと。 	Media
-----------------	---	-------

5. 予備審査(非公開)

コンクール第 1 次予選出場者を決定するため、II-4に記載の動画による予備審査を行う。
予備審査は、事務局が参加資格を確認した後、審査委員長と日本在住審査委員により行われ、参加申込者の動画を除く一切の情報は、当該審査委員には開示されないブラインド審査で行われる。

予備審査の結果は 2023 年 6 月 19 日(月)までを目途に、すべての参加申込者に MUVAC (messages@muvac.com)からの E メールで通達する。6 月 19 日(月)までに連絡がなかった場合は、E メールにて事務局 (smf@sonymusic.co.jp) へ問い合わせること。それ以前の問い合わせには応じない。

Ⅲ. コンクールへの出場について

1. 出場料

予備審査通過者は、出場料として日本円で 20,000 円を支払う。
一旦支払った出場料は、如何なる事由があっても返金しない。

2. 第1次予選

第1次予選は動画審査とし、審査委員全員で行う。

- 動画の提出方法等詳細は、予備審査結果通知時に、予備審査通過者にのみ通達する。
- 事務局は、出場者からの動画提出を確認後、その収録にかかる経費補助として日本円で 70,000 円(日本の税法に基づく税金を含む)を支給する。(指定銀行口座への送金)
- 第1次予選のための動画提出の締め切りは、8月8日(火)、第1次予選通過者発表：9月11日(月)頃を予定。
- 第2次予選および本選の演奏順は、第1次予選通過者決定後、事務局による厳正なる抽選に基づいて決定する。一度決定した演奏順は、コンクール期間を通じて適用される。
- 提出した動画は公開される。
- 動画内容に不正および不備が発覚した場合は即時失格となる。

3. 第2次予選・本選

第2次予選・本選は、東京都武蔵野市(日本)にて開催し、審査委員全員で審査を行う。

第2次予選出場者は、2023年9月30日(土)に、事務局が東京都内に指定する登録会場で出場登録を行わなければならない。出場者は、出場登録日に行われるレセプションに必ず参加すること。

第2次予選についての詳細は、第1次予選結果発表時に、1次予選通過者にのみ通達する。なお、第2次予選課題曲の選択および演奏順の申請、宿泊希望の有無、伴奏者を含む同伴者の有無等は、第1次予選通過後に申告すること。

本選についての詳細は、2次予選結果発表時に、2次予選通過者にのみ通達する。

4. 日本国外からの出場者への渡航費補助

日本国外に居住し、当コンクールのためだけに来日または一時帰国する等、事務局が該当すると判断した出場者へは、下記金額を日本での第2次予選出場登録時に日本円の現金で支給する。

日本国外に居住していても、居住地へ戻らない場合(往復しない場合)、または当コンクールの出場以外の目的を含む場合、規定金額は支給しない。

地域の基準は、コンクールに出場するための出発地及び帰国地とする。

支給される金額については、日本の税法に基づく源泉徴収後の額を支給する。(税率は原則として 20.42%)

	支給額(税込)	控除後の支給額(手取り)
アメリカ/ヨーロッパ/ アフリカからの出場者	100,000 円	79,580 円
アジア/オセアニア地 域からの出場者	50,000 円	39,790 円

5. 出場者への宿泊場所の提供

事務局は出場者に対し、出場登録日から下記の各期日まで、事務局指定の宿泊ホテル(シングル 1 名 1 部屋・朝食付)を提供する。

下記期間以外の滞在費はすべて出場者が負担すること。

- ◆ 第 2 次予選出場者 9/30～第 2 次予選終了日の翌朝(10/7)まで
- ◆ 本選出場者 9/30～本選終了日の翌朝(10/9)まで
- ◆ 「入賞者 & 審査委員コンサート」出演者 (後述)
9/30～入賞者 & 審査委員コンサートの翌朝(10/10)まで

6. 共演

- 出場者は、伴奏者としてピアノ及びチェンバロ奏者を同伴することができる。ただし、伴奏者に掛かるすべての経費は出場者が負担すること。
- 伴奏者を同伴しない場合、事務局は第 2 次予選の公式伴奏者としてピアノ、チェンバロ奏者を用意する。
- 本選における共演オーケストラ、指揮者、室内楽奏者(弦楽トリオ)は、事務局が用意する。
- ピアノおよびチェンバロ奏者、オーケストラ、指揮者、室内楽奏者との公式練習時間、場所などは、事務局が指定する。
- 公式伴奏者は、第 2 次予選、本選および本選翌日に行われる「入賞者 & 審査委員コンサート」ごとに事務局が割り当てるため、変更される場合がある。

7. 入賞者 & 審査委員コンサート

- 入賞者(原則として第 1 位から第 3 位まで)は、本選翌日(10 月 9 日)に武蔵野市民文化会館大ホールにて行われる「入賞者 & 審査委員コンサート」に出演すること。
- 入賞者の当コンサートへの出演に対する報酬は発生しない。ただし、当コンサートにかかる宿泊費は事務局が負担する。
- 演奏曲目は入賞者がコンクールで演奏した課題曲(後述)の中から、委員会が決定する。また、演奏部分を指定することがある。

8. その他

[A] 出場者/ 参加者

予備審査を通過し、出場料を支払った者を、「出場者(contestant)」と呼ぶ。また、不合格になった時点で「参加者(participant)」と呼ぶ。

[B] 査証取得

当コンクール出場のために入国査証が必要な場合は、出場者本人の責任で入国査証を取得すること。同伴する伴奏者についても同様とする。尚、入国査証取得のために必要な書類は、事務局に申請すること。

[C] 保険

当コンクール期間中の出場者及び同伴する伴奏者自身の健康に関する保険、また、楽器等所持物の事故、火災、盗難、破損等に関する保険は、出場者及び同伴する伴奏者自身が加入すること。

[D] 著作権

本選翌日の「入賞者&審査委員コンサート」を含む、本コンクール期間中に行われるすべての演奏、式典についての写真、録音、録画、放送、配信等に関する著作隣接権を含む諸権利は、すべて事務局に帰属するものとする。

[E] 演奏等の公開

当コンクールは、予備審査を除き一般に公開される。

第1次予選、第2次予選及び本選での演奏、表彰式の模様は、ライブ中継、録画、録音等によるテレビ、ラジオ等での放送、インターネットによるライブおよびアーカイブ配信(YouTube 他)、公式ウェブサイトおよび公式SNSでの公開等を行う場合があり、出場者及び同伴する伴奏者はこれを了承するものとする。なお、これら放送、配信、公開にかかる報酬は発生しない。

[F] 個人情報

出場者の情報(国籍、地域、氏名、生年月日、演奏曲、学歴、音楽歴)は公開される。事務局は、提供された個人情報を漏洩や紛失、不正アクセス等から保護するために必要な対策を講じて保管する。

[G] 日本の法律への準拠

当参加規定に関して発生する問題については、日本語の参加規定に基づき、かつ日本の法律に準拠して解決される。

[H] 審査方法

演奏の審査については別途定める審査規程に基づき、審査委員会が厳正にこれを行う。審査委員会による決定事項は最終的なものであり、絶対的なものである。

IV. 課題曲

事務局は、予備審査、第1次予選、第2次予選、本選の課題曲をそれぞれ設定する。
コンクール期間を通じて、伴奏楽器(ピアノ、チェンバロ、オーケストラ、室内楽)のピッチは A=442Hz、第2次予選のチェンバロは平均律で調律するものとする。

1. 予備審査(動画審査)

下記課題曲1曲を演奏し、録音・録画すること。

- 1) ポンキエツリ:カプリッチョ
【出版社:指定なし】

2. 第1次予選(動画審査)

下記課題曲2曲を演奏し、録音・録画すること。(曲順任意)

- 1) G. Ph. テレマン:無伴奏フルートのための12の幻想曲より第11番ト長調 TWV40:12
[繰り返しすべてあり]
【出版社:Bärenreiter/ Henle】
- 2) P. ヒンデミット:オーボエ・ソナタ
【出版社:Schott】

3. 第2次予選(日本での公開審査)

<A><C>のグループからそれぞれ1曲、計3曲を選択し、45~55分のリサイタルを構成するように演奏すること(入退場含め60分以内)。なお無伴奏曲の選択は、最大1曲とする。(曲順任意)

<A>

- 1) J. S. バッハ:ソナタト短調 BWV1030b
[3楽章のみ繰り返しなし]
【出版社:Peters】
- 2) J. S. バッハ:無伴奏フルートのためのパルティータイ短調 BWV1013(ト短調で演奏すること)
[全楽章とも最初の繰り返しのみ]
【出版社:Karthause-Schmülling (Birgit Welpmann 校訂) / Alexander Gagarinov* (IMSLP=International Music Score Library Project)】
*バッハの間違いを正して演奏すること。
- 3) F. クープラン:《趣味の融合 または新しいコンセール集》よりコンセール第7番、または第9番、または第11番
[チェンバロ伴奏、繰り返し任意]
【出版社:Fuzeau】

- 1) A. ドラティ:協奏的二重奏曲
【出版社:Boosey & Hawkes】
- 2) D. ミヨー:オーボエとピアノのためのソナチネ op.337
【出版社:Durand】

- 3) N. スカルコッタス: ソロ・オーボエとピアノ伴奏のためのコンチェルティーノ
【出版社: Margun】
- 4) A. パスクッリ: ドニゼッティ「ポリウート」の主題による幻想曲
【出版社: Musica Rara (Breitkopf & Härtel)】
- 5) A. パスクッリ: ヴェルディ「シチリア島の夕べの祈り」の主題による大協奏曲
【出版社: Musica Rara (Breitkopf & Härtel)】
- 6) G. シルヴェストリーニ: 6つの練習曲より 第 1,2,5,6 曲
【出版社: Delatour】
- 7) 細川俊夫: 《スペル・ソングー呪文のうたー》オーボエのための
「第 11 回 国際オーボエコンクール・軽井沢」のための公益財団法人ソニー音楽財団委嘱作品
【出版社: Schott】

<C>

- 1) W. A. モーツァルト: オーボエ協奏曲 ハ長調 K.314 (285d)
[暗譜、ピアノ伴奏]
【出版社: Breitkopf & Härtel (Henrik Wiese 校訂) / Henle (Ingo Goritzki 校訂) / 最新の Bärenreiter (Frank de Bruine 校訂)*】
*この版を使う場合には、“オツシア・ヴァージョン”を演奏すること
- 2) B. マルティヌー: オーボエ協奏曲 H. 353
【出版社: Max Eschig (M. Bourgue & G. Porat 校訂)】
- 3) R. ヴォーン=ウィリアムズ: オーボエ協奏曲 イ短調
【出版社: 指定なし】

4. 本選（日本での公開審査）

以下の 2 曲を演奏すること。

- 1) W. A. モーツァルト: オーボエ四重奏曲 ヘ長調 K. 370 (368b)
[弦楽伴奏、最初の繰り返しあり]
【出版社: Bärenreiter / Henle / Fuzeau】
- 2) R. シュトラウス: オーボエ協奏曲 二長調 AV414
[暗譜、オーケストラ伴奏]
【出版社: Henle】